

東海地震の対策と現状－特にブロック塀対策に着目して－

30016008 小野田育恵

東海地震の対策の重要性が強調されて久しいが、実際にどれほどの対策が進んでいるかは必ずしも綿密に把握されていない。本研究では、たびたび問題となるブロック塀対策に着目し、その進捗や問題点を考察した。静岡県防災局の「ブロック塀3分点検」を参考にした判断基準を用いて、旧静岡市、旧清水市、焼津市内の計1115軒のブロック塀調査をおこなった。その結果、全体の48%に倒壊危険のあることがわかった。また市街地の性格によって塀の特徴が出ており、商業地では高さ違反が目立つこともわかった。さらに空中写真と地理情報システムGISを用いた分析によって、それぞれの地域の市街化の歴史によっても、塀の特徴や倒壊危険度が異なることがわかった。